



—リレー・エッセイ—

# 男女共同参画推進委員会

平成29年度男女共同参画に関する作文・エッセイ 入選作品

【中学生の部 優秀賞】

一人の選手として

安中市立第一中学校 二年 森田 裕菜

私は小学4年生から野球をやっている。中学生になった今でも男子に混ざって硬式野球をしている。しかし、中学生になった今、男女の違いという大きな壁に直面しているのだ。男女の違いは成長するにつれて、多くなる。例えば、力の差、身長の違い、体つき、これらは、変える事のできない事だ。だが、成長するにつれて、これらとは違う、男女の違いがでてくるだろう。例えば、私が野球のメンバーと挨拶をしに行くと、「女子だー。すごいね。」

と言われることがある。なにがすごいのだろうか。プレーを見ていないのに、女子だからすごいのだろうか。野球では、他にもある。皆さんご存じの「全国高校野球選手権大会」。その会場となる野球の聖地「阪神甲子園球場」。その中で女性がプレーすることは禁じられている。女性選手だとしてもプレーはできないのだ。そして私が住んでいる群馬県には、女子硬式野球部が存在しない。そのため、歴代の女子の先輩方も、この町を出て野球を続けているのだ。男子野球部は全国大会でも、実績を残していて、強豪校ばかりいるのに、なぜ女子の硬式野球部は無いのだろうか。し

かし、これらは「野球」という小さな枠の中だけの男女の違いだ。

野球以外で考えると、数えきれない程あるだろう。例えば、OECDの最新データによると、「男性と女性の給与額の格差」を示すランキングでは、日本はワースト3位。「管理職に女性が占める割合」を示したランキングでは、日本は3%と堂々のワースト1位という結果だ。この結果を見ると、日本は世界の国々に比べて女性が社会へ進出することが少なく、男性と女性の差が激しいということが分かるだろうか。そのため、「男女平等度」を示したランキングでは、111位という結果なのだ。それに比べると、1位のアイスランド共和国は、とてもすごい。レディーファーストという言葉はアイスランドには無く、女子がやること、男子がやること。という考え方は無いのだ。

日本はまだ昔のままだ。行政や環境は変わっていても、考え方が昔のままだ。女性は家庭を守り、男性を立てるべき、という古来の考え方が、今の私達を苦しめているのだと思う。私達は男性、女性である前に、一人の人間なのだ。だから、今の時代のこの世界の国々についていけるように、女性をもっと社会に進出させ、特別扱いせず、一人一人の考え方を変えていくことが重要だと私は思う。

第84回

問合せ▶困市民生活課市民協働係 (☎内線1139)

## 消費生活センターからのお知らせ

電子マネーで支払わせる架空請求に注意!

ハガキやメールで、身に覚えのない利用料を請求されたという相談が増えています

### 【事例1】

「総合消費料金に関する訴訟最終告知」というハガキが届いた。訴訟や差し押さえなどと書いてあり、怖くなってハガキに書いてあった電話番号に連絡したところ、訴訟の取り下げ費用としてコンビニでギフトカードを買いそのカード番号を伝えるよう言われた。身に覚えがないのに払わなくてはならないのか。

### 【事例2】

携帯電話に「有料サイト利用料の請求」とあるショートメールが届いた。「期日までに連絡しないと法的手段に訴える」と書いてある。利用した覚えがないがどうしたらよいか。

### 【ひとことアドバイス】

★「訴訟を起こす」「差し押さえをする」などと不安をあまり「期日までに連絡するように」と周囲の人などに相談させずに連絡を取らせようとする手口です。

★連絡するとお金を要求されたり、電話番号などの個人情報を知られてしまったりするケースもあります。

★最近、匿名性の高さからコンビニで電子マネー(プリペイドカードやギフトカード)を購入してそのカード番号を伝えるよう要求される例が増えています。

★このようなハガキやメールが届いても決して連絡してはいけません。

資料提供…独立行政法人国民生活センター

### 【まずは相談しましょう】

わからないことや困ったこと、少しでも不審に感じたら、早めに市消費生活センターにご相談ください。

相談日時▼月・金曜日(祝日を除く) 午前9時～午後4時  
問合せ▼安中市消費生活センター(☎382-2228)

